

山仲間の皆さん、こんにちは。

毎年3月第2日曜日に開催される兵庫県勤労者山岳連盟主催の縦走大会。六甲山系を会場とした恒例の風景を、出走者とサポーターの思いと一緒にご紹介します。

【活動記録】2024年3月10日 六甲全山縦走大会

～出走者の感想～

(黒柳光洋)

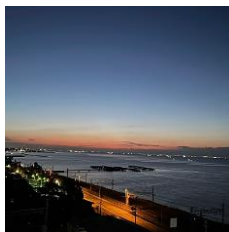
まず始めに全縦サポートスタッフの皆様、当日早朝から夜遅くまでご支援ありがとうございました。私なりの全縦に対する思いを書かせていただきます。

西宮山岳会とのご縁は山岳会を通じて六甲全縦大会に一般参加でエントリーしたのがきっかけです。2020年の大会はコロナで中止になってしまい、山岳会とは一旦疎遠になりましたが、その間も泉さんからちよくちよく山行案内のメールは頂いておりました。

次の年に自主開催の案内があり、迷わず申し込んで念願の六甲全縦を15時間以上かけて踏破することができました。その時泉さんから、アルプス縦走を目指すのであれば12時間以内で踏破しないといけないという言葉で俄然ヤル気になり、次の年は11時間ジャストでゴールし、夏には槍ヶ岳に無事登頂することができました。

初アルプスを経験して分かったことですが、登山は自然が相手ですので予期せぬことが高い確率で起こります。ただ登って降りるだけならそれ程体力は必要無いかも知れませんが、天候の急変やケガ人の発生等で足止めになった場合、計画よりも早いペースで目的地に着かなければならない場面が出てきます。

そういうイレギュラーにも対応できる体力と気力を鍛えるには六甲山系は最適のトレーニング場と言えます。これからもホームグラウンドとして心身共に鍛えていきたいと思えます。最後に泉さんへ、私を山という深い沼に嵌めていただき、心から感謝申し上げます。





(畑ゆかり)

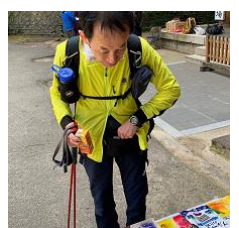
初めての六甲全山縦走大会。私にとっては『祭』でした。

西半縦だから言えるのですが。一人で歩きましたが、とにかく、とても楽しかったのです。

なぜなら、それは会のサポートさん達に応援して頂いたから。サポートさん達の仲間を思う気持ちに後押しされて私の足は前へ前へと軽やかに進みました(平坦な道だけ)。

太龍寺のゴールに着いた時には、『ああ、もう着いちゃった』と祭の終わりを名残惜しく思いました。

この大会は登山の辛さを超える仲間との繋がりや、感謝の気持ちを再認識させてくれる貴重な体験となりました。ありがとうございました。



(近藤久美子)

エイドサポートでの温かいおもてなしと、「速いね!! 頑張れ!!」の言葉が嬉しくなり、次のエイドまで頑張ろう!! と力が出ました。

記念碑台で「17時ゴールを目指せ!!」との桐原会長の声に、(無理〜っ!!) と思いながらも目指してみる事に。脚が棒の様になりながらも、前に進む自分の体に感謝。

休憩もほとんど取らず、(何を目標してるのか? もっと他の事にも頑張れたらいいんだけどな~) という自分のツッコミもありましたが、事前に立てていた目標を大幅クリアでゴール!!

色んな方達のサポートのもと、守られた場の中で歩いて幸せでした。そして楽しかった! ありがとうございました!!

～サポートメンバーの感想～

(坂枝真樹子)

2時50分に家の近くでピックアップしてもらい、山岳会事務所に寄って荷物を車に乗せて、まだ夜明け前の真っ暗な須磨浦公園に着き、5時前から8時すぎまで、名簿をチェックしカードに記入しながら運営の方や参加者の皆さんとたくさん交流するという楽しいボランティアをした。蟹澤副会長が参加者さんそれぞれをよく覚えておられて、心がこもった言葉で一人一人を見送っておられるのを見ることができ、あたしもあったかい気持ちに包まれたように感じて、足先から冷えてくる寒さがまぎれた。がんばる人にがんばれ！って言うことって最近の複雑な世の中ではなかなかできないことから、特別な場所にいると感じられた。

ありがとうございました。来年は歩きます～。

(大磯和美)

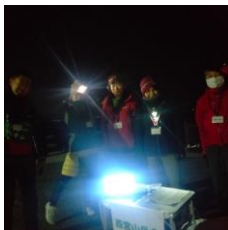
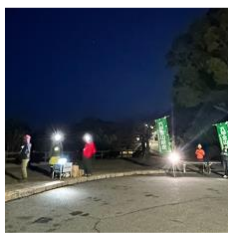
大龍寺でのサポートは、朝早くから机を設置し、準備万端。どのくらいで1番の人が来るのかしら？西宮山岳会の方はいつ頃？と寒さと闘いながら待ちます。知った顔を見つけると、とても嬉しく心からエールを送ります。山岳会サポートの方を呼び込むため、案内板を持つのは飲み屋の呼び込み、みたいでした(笑)西半縦のゴールでもあり、おめでとう！！の記念写真には皆さん、清々しい笑顔で写っていました。自分は今回、歩いてないですが、達成感をお裾分けしてもらった気分でした。

また少しやりたくなかったので、次は半縦しようかな？

(太田知子)

今回、初めて全山縦走大会に携わらせて頂きました。私の担当はゴール地点の塩尾寺下、「きっと感動の涙が止まらないはず！」と思いきや、続々と余裕の表情でゴールされる姿に拍子抜けして感服するばかり。それでも日没後、暗闇の中をヘッドライトの灯り一つで、まるで蛍が舞い降りて来る様に下山される姿には流石にうるっときました。サポートとはいえ私は精一杯の笑顔でお迎えする事しか出来ませんでした。最後まで何事もなく無事に終えることが出来て本当に良かったです。

参加者そしてスタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。



【活動計画】

日時	企画	山域・ルート	内容・おすすめポイント
4/4	平日例会	吉野山	桜の花の下
4/6	体験ハイキング	六甲山	甲山
4/6	講習会	夏山セミナー①座学	夏山の知識
4/7	クリーンハイキング	六甲山	ゴミ拾いをします
4/7	例会	賤ヶ岳から山本山	青春切符を使って山旅
4/10	平日例会	吉野山	蜻蛉の滝から青根ヶ峰
4/13	例会	すき焼きハイキング	再度公園にて
4/14	講習会	山の学校	岩場を登る
4/20	例会	金剛山	カトラ谷ニリンソウ
4/20	講習会	山の学校	読図（実技）
4/21	公開ハイキング	小野アルプス	市場駅から
4/27	講習会	夏山セミナー③実技	岩場通過
4/27～29	遠征山行	西赤石山～東赤石山	山肌に咲くアケボノツツジ
5/3	例会	横山岳	春の花の競演と新緑のブナ
5/3～6	遠征山行	長野県安曇野	アルプスの雄姿を眺める
5/11	体験ハイキング	六甲山	修法ヶ原
5/12	ブナ観察	六甲山	20年前に植樹

【新規入会、絶賛募集中!!】

個人山行やガイドツアーでは体験できない山行に行きませんか？

セミナーや例会で、更に色んな体験が出来ます。また、多くの仲間に出会うことで、日常生活では体験できない感動を味わえます。

当会では、山仲間を絶賛募集中です!!体験ハイキングや公開ハイキングで、会の雰囲気をご覧いただけます。入会をご検討中の方は、お気軽にご参加ください。

[Web] <https://nishinomiya-sangakukai.com>

[住所] 〒662-0971 兵庫県西宮市和上町1-12

[問合せ先] n.sangakukai@gmail.com